

## 国営土地改良事業「近江東部地区」の全体実施設計の着手に向けて

### 1 国営土地改良事業「近江東部地区」の概要

永源寺ダムでは、貯水池内への流入土砂による堆砂が進行し、その機能に支障を来すおそれがあることから、その対策を速やかに行うことが喫緊の課題となっている。

このような状況を受け、国において平成28年度から令和4年度まで、必要な対策やその技術的可能性等を検討する地区調査が実施されている。

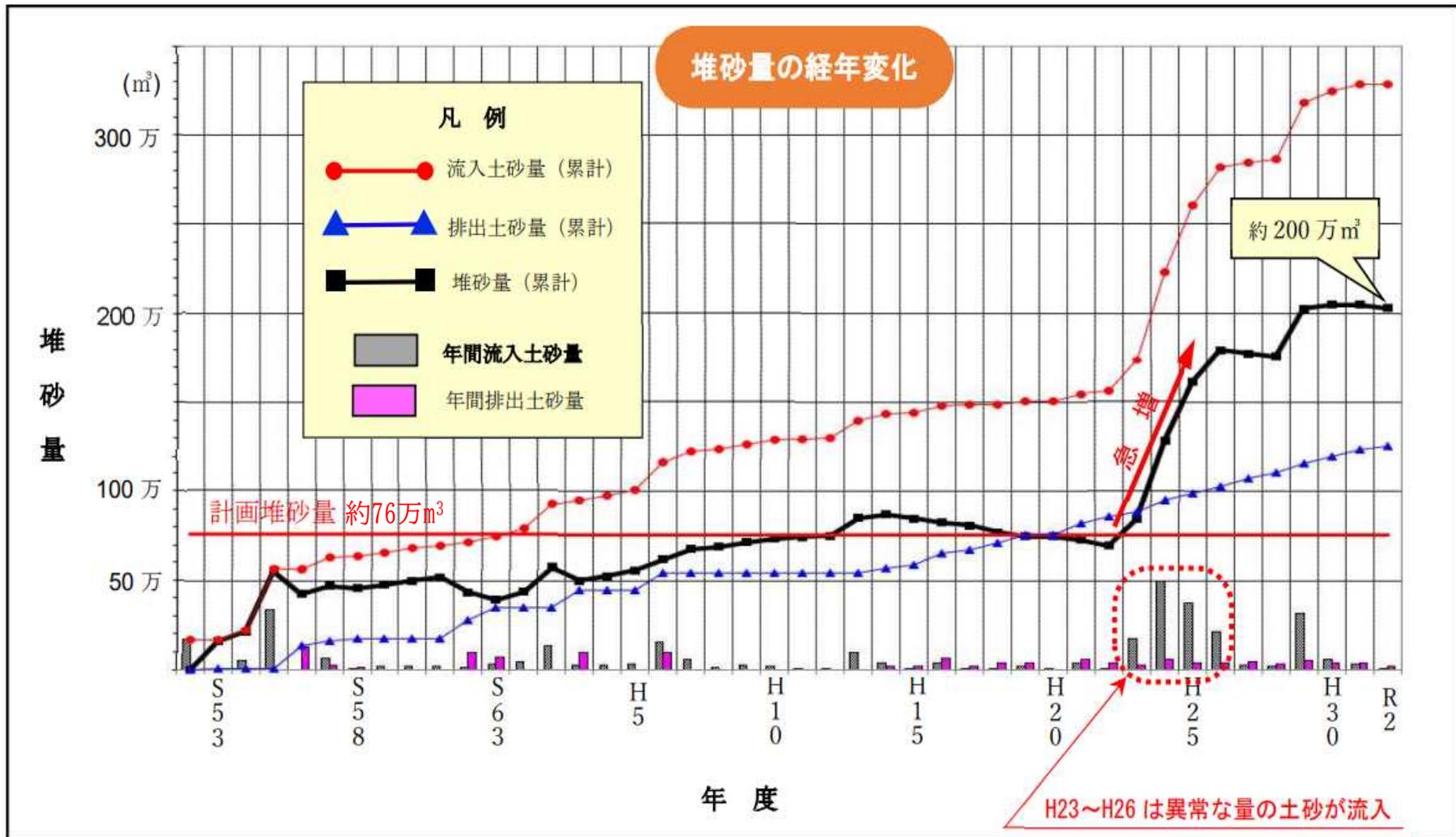
この地区調査では、将来にわたりダムの機能が保全されるように、防災上の観点から堆砂による貯水機能への影響の緩和や各施設の機能回復などが検討されている。

#### <現時点の事業構想>

- 関係市町 東近江市、近江八幡市、愛荘町、豊郷町
- 受益面積 6,778 ha (R3年度時点)
- 事業構想
  - ①排砂バイパスの新設 L=2.3 km
  - ②土砂溜施設の新設 1か所
  - ③低水取水用施設の改良 1式
  - ④堆砂掘削 1式
- 総事業費 430億円(事業構想に基づく概算)



(参考) 永源寺ダム貯水池内の堆砂量の変化



※ H23 紀伊半島台風、H24 台風4号などの影響により、平成23年度から平成26年度にかけて堆砂が急増した。

## 2 今後の事業スケジュール（予定）

- ◆地区調査後は、事業着手に向けた詳細な施工計画や実施設計を進める全体実施設計が3年程度実施される予定。
- ◆施設を管理している県としても、管理面も含め円滑に実施されるよう緊密に連携。

## 参考：永源寺ダムについて

造成年度：昭和34年着工 昭和47年完成

事業名：国営愛知川農業水利事業（昭和27年度～58年度）

用途：灌漑<sup>かんがい</sup>および発電（関西電力との共同施設）

型式：コンクリート重力ダムとロックフィルダムの複合ダム

堤高：73.5m（「太陽の塔」と同程度）

堤長：392.0m

放流設備：取水施設：多段ゲート（3段1門） 幅 5.0m×高さ 26.0m

低水取水用ゲート（1門） 幅 2.0m×高さ 2.5m

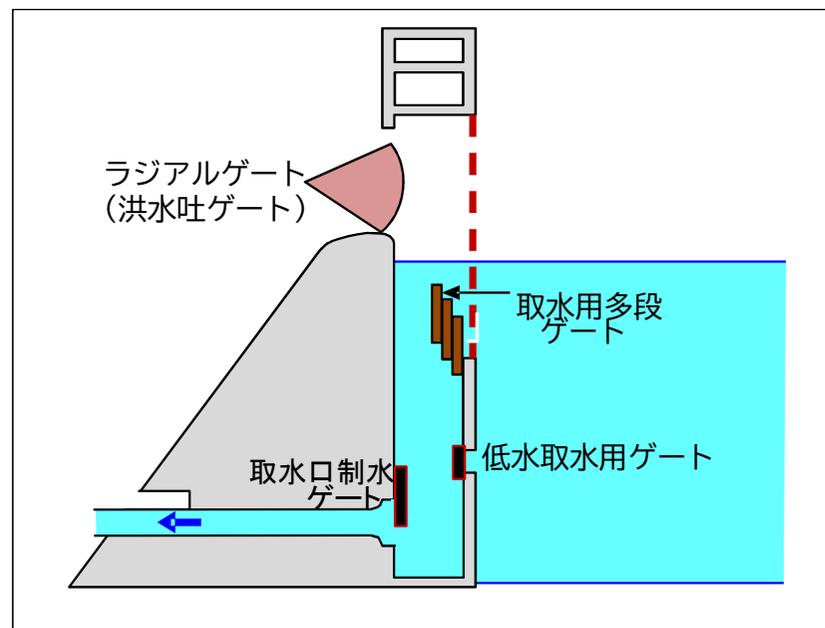
放流施設：ラジアルゲート（4門）幅 9.375m×高さ 8.103m 左2門

幅 9.375m×高さ 9.060m 右2門

有効貯水量：約2,198万m<sup>3</sup>（東京ドーム約18個分）



永源寺ダム全景



永源寺ダム断面図